

平成25年度 国保野上厚生総合病院改革プラン点検・評価について

1. 総論

昨年度末より病院事業収益が3.8%の減となった。病院事業費用については0.1%の増にとどまった。医業収益の大幅な減が厳しい決算値となる原因となった。

2. 改革プラン進捗状況

国保野上厚生総合病院改革プラン平成25年度実績調書

市町村等名 海南市・紀美野町

病院事業会計名 国民健康保険野上厚生病院組合事業会計

(単位:百万円、%)

項目		平成24年度策定 改革プラン値(X)	平成25年度実績(Y)	平成25年度実績が計画未達成の場合はその理由
医業収益		2576	2443	入院・外来患者数減による収益の減
経常収益A		3167	3010	入院・外来患者数減による収益の減
医業費用		2888	2921	資産減耗費が増加の為
うち職員給与費		1540	1582	医療スタッフ増員の為
うち材料費		640	595	
うち減価償却費		223	209	
経常費用B		3194	3244	資産減耗費・給与費増の為
経常損益(A-B)		-27	-227	入院・外来患者数減による収益の大幅な減
単年度資金収支額		0	-120	流動資産額の見込が過大であった
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額		0	0	
地財法による資金不足比率		0	0	
経常収支比率		99.2	93.0	
職員給与費比率		59.8	64.7	医業収益の減が大きい
病床利用率		71	67.7	10:1の入院基本料維持のためのベットコントロールを行うが、待機患者数が少ないため利用率が70%を割り込んだ
一般会計からの繰入金	収益的収支	( ) 478	( ) 454	
	資本的収支	( ) 115	( ) 66	償還元金の予定値に若干の差が出たため
	合計	( ) 593	( ) 520	